

# 環境活動レポート

(対象期間：平成28年3月1日～平成29年2月28日)

## 第3号



株式会社

**共栄社**

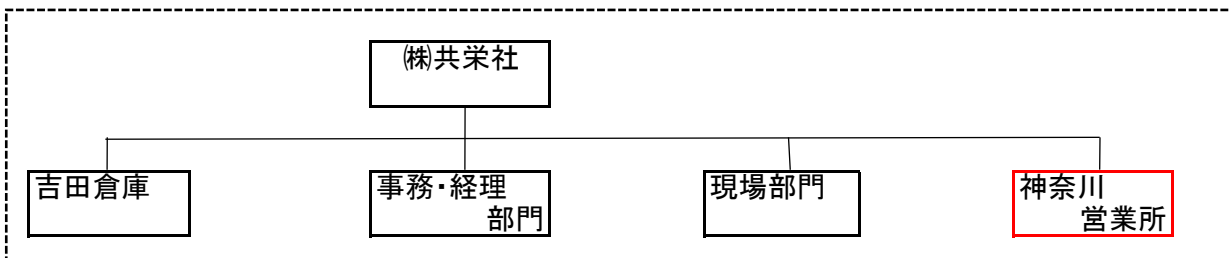
作成日：平成29年5月30日

# 目次

I. 組織の概要	.....	P.1
II. 実施体制	.....	P.2
III. 環境方針	.....	P.3
IV. 環境目標	.....	P.4
V. 環境活動計画	.....	P.6
VI. 環境目標実績	.....	P.7
VII. 環境活動計画の取組結果とその評価、 次年度の取組内容	.....	P.14
VIII. 当社の取組み	.....	P.15
IX. 環境関連法規の遵守状況の確認及び評価の結果	.....	P.16
X. 代表者による全体評価と見直し結果	.....	P.17

# I 組織の概要

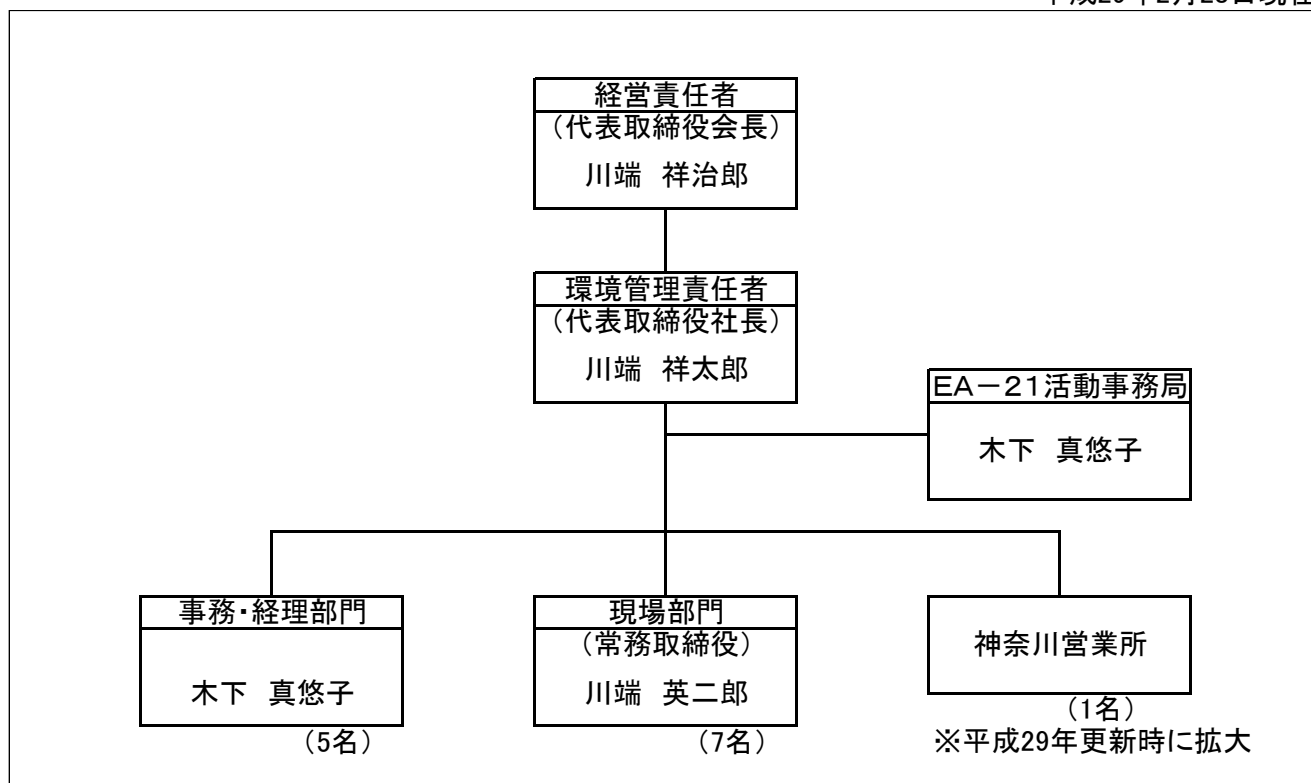
- 1) 事業者名 **株式会社 共栄社**
- 2) 代表者氏名 川端 祥治郎
- 3) 所在地 本社 静岡県島田市本通一丁目2902番地の35  
吉田倉庫 静岡県榛原郡吉田町川尻3885  
神奈川営業所 神奈川県相模原市南区鶴野森2-11-29キャトルセゾンB  
(今回より拡大)
- 4) 事業活動 塗装工事: 建設塗装・重防蝕塗装・床工事・シーリング工事  
防水工事・外装工事・内装工事
- 5) 従業員数 15名
- 6) 環境管理責任者 川端 祥太郎  
連絡担当者 木下 真悠子
- 7) 連絡先 TEL (0547)36-3525  
FAX (0547)36-1832  
E-Mail t-kawabata@rock.odn.ne.jp
- 8) 建設業許可  
許可番号 静岡県知事(般-28) 第2858号  
許可年月日 平成28年7月25日  
建設業の種類 建築工事業 塗装工事業 防水工事業  
内装仕上工事業 とび・土工工事業
- 9) 事業の規模  
① 設立 創業 昭和14年6月  
法人設立 昭和34年7月
- ② 事業規模  
従業員 15名  
事務所床面積 446.73㎡  
倉庫床面積 101.88㎡
- 10) 事業年度 3月1日～翌年2月末日
- 11) 認証・登録の対象範囲  
活動: 建設業  
(塗装工事業、防水工事業、とび・土工工事業、  
内装仕上工事業、建築工事業)
- 対象組織: 株式会社 共栄社 (本社、神奈川営業所、吉田倉庫)



※神奈川営業所は今回より拡大

## Ⅱ．実施体制

平成29年2月28日現在



### <環境管理組織における機能>

#### 経営責任者

- ①環境経営全般に対するの責任と権限
- ②環境方針の作成と社員への周知
- ③全体の評価と見直し
- ④環境管理責任者の任命
- ⑤環境経営に必要な資源の準備(人材、資金、技術等)

#### 環境管理責任者

- ①環境経営活動の推進
- ②環境目標及び環境計画の作成
- ③活動事務局の文書作成に対するチェック及び改訂の指示
- ④経営者への進捗報告

#### EA-21活動事務局

- ①負荷の集計
- ②環境活動及びエコアクション21における文書・記録の作成及び管理
- ③環境負荷・環境への取組みの自己チェックの実施
- ④環境管理責任者補佐
- ⑤緊急時の想定結果及び対応策の策定

#### 各部門

- ①環境計画の実施
- ②問題点の把握と是正の実施
- ③社員への周知

#### 全従業員

環境方針への理解と活動の実施

## Ⅲ. 環境方針

### 企業理念

- ☆新たな姿勢でお客様を大事にする。
- ☆次なる技術、技能を現場に創造する。
- ☆リスクを想像し、安全作業で！

株式会社 共栄社は、企業活動の全域において、上記を推進していくと共に、積極的に地球環境の保全及び循環型社会の構築を目指します。

### 環境方針

- 1.事業活動が与える影響を把握し、環境保全に視点を置いた活動を推進致します。
  - ① 電力、燃料の消費に伴う二酸化炭素排出量の削減に取り組みます。
  - ② リサイクル活動及び適正な分別を通して、事業活動に起因する廃棄物の削減に取り組みます。
  - ③ 水資源を有効活用し、節水や使用量の削減に取り組みます。
- 2.化学物質使用量の把握、及び適正な管理を徹底し、環境に配慮した事業活動を推進致します。
- 3.エコマーク商品を積極的に導入し、事務用品、建築資材(塗料等)等のグリーン購入を推進致します。
- 4.環境対応型の水性塗料の使用、及び凝集剤による排水処理を致します。
- 5.環境関連法規制及び協定を遵守致します。
- 6.日常の活動を通じて、環境方針を周知徹底すると共に環境問題への意識向上を図り、継続的改善に努めます。

制定年月日 平成28年3月1日

株式会社 共栄社

代表取締役会長 川端 祥治郎

(原本は署名あり)

## IV.環境目標

### 短期・中期環境目標

#### 1. 全体の環境目標

\*2

項目	単位	平成26年度	平成27年度	平成28年度		平成29年度	平成30年度
		基準年度	実績 *1	目標		目標	目標
1-①.二酸化炭素削減	kg-CO2	37,867	43,064	37,110	-2%	-3%	-4%
購入電力	kWh	13,481	14,610	13,211	-2%	-3%	-3%
ガソリン	L	8,953	9,816	8,774	-2%	-3%	-4%
軽油	L	3,422	4,463	3,354	-2%	-3%	-4%
1-②.産業廃棄物	kg	26,350	38,263	25,823	-2%	-3%	-3%
廃プラ	kg	10,810	7,830	10,594	-2%	-3%	-3%
廃油	kg	8,740	20,860	8,565	-2%	-3%	-4%
1-③.水道使用量の削減	m <sup>3</sup>	341	359	334	-2%	-3%	-3%
2. 化学物質使用量	kg	299.9	355.3	296.9	-1%	-2%	-3%
3. *3グリーン購入(事務用品)	商品	2	3	4	+2商品	+3商品	+4商品
3-②.グリーン購入(建設資材)	t	3.6	3.69	3.7	+2%	+3%	+3%
4. 水性塗料使用量	t	15.2	25.8	15.5	+2%	+3%	+4%

#### 2. 売上あたりの環境目標

\*2

項目	単位	平成26年度	平成27年度	平成28年度		平成29年度	平成30年度
		基準年度	実績 *1	目標		目標	基準年度
100万円以上(注文書)の工事	万円	273	402	278.5	+2%	+3%	+4%
1-①.二酸化炭素削減	kg-CO2	138.7	107.1	135.9	-2%	-3%	-4%
購入電力	kWh	49.4	36.3	48.4	-2%	-3%	-4%
ガソリン	L	32.8	24.4	32.1	-2%	-3%	-4%
軽油	L	12.5	11.1	12.3	-2%	-3%	-4%
1-②.産業廃棄物	kg	96.5	95.2 *1	94.6	-2%	-3%	-3%
廃プラ	kg	39.6	19.5	38.8	-2%	-3%	-4%
廃油	kg	32	51.9	31.4	-2%	-3%	-3%
1-③.水道使用量の削減	m <sup>3</sup>	1.3	0.9	1.27	-2%	-3%	-4%
2. 化学物質使用量	kg	1.1	0.9	1.08	-2%	-3%	-4%
3. 水性塗料使用量	t	0.0557	0.064	0.0568	+2%	+3%	+4%

- \*1 黄色箇所は前年度未達成であり、今年度重要項目となる。
- \*2 以降は、次回策定時に再考する。
- \*3 グリーン購入は、詰め替え用商品やエコ商品を含むものとする。  
(「2. 売上あたり」の把握は困難なため除外する。)

※購入電力二酸化炭素排出係数

平成27年度  
平成28年度

中部電力(平成25年度)の「0.513kg-CO<sub>3</sub>/kWh」  
中部電力(平成26年度)の「0.497kg-CO<sub>3</sub>/kWh」

## V. 環境活動計画（平成28年度）

活動項目	責任者	スケジュール												
		H28	スケジュール										H29	
		3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	
<b>1.環境負荷の削減</b>														
<b>①二酸化炭素の削減</b>														
<b>購入電力・燃料</b>														
○照明	木下													
消し忘れチェック														▶
○空調														
使用していない部屋の空調停止														▶
温度設定夏26℃以上 冬22℃以下										▶				▶
自然光の取り入れ														▶
自然風の取り入れ					▶						▶			
<b>設定温度の表示</b>		▶												
○営業車・トラック	川端(祥)													
エコドライブ・アイドリング停止													▶	
点検・整備の実施													▶	
エコドライブ表示		▶												
<b>②廃棄物の削減</b>														
○事務所	木下													
コピー用紙の両面使用													▶	
マニフェスト伝票の整理													▶	
カタログ、パンフレット類の管理													▶	
ペットボトル・缶廃棄量の把握													▶	
<b>正しいゴミの出し方・分別の掲示</b>		▶												
○建築現場	川端(祥)													
ゴミ重量の把握													▶	
廃棄物の分別とリサイクル													▶	
<b>③節水</b>														
<b>漏水確認</b>	木下												▶	
手洗い節水													▶	
<b>2.化学物質の使用</b>														
化学物質を含む塗料の適正な管理	川端(祥)												▶	
<b>3.グリーン購入</b>														
○事務所	川端(貴)													
環境ラベル対応品の購入													▶	
何度も使用可能な事務用品の購入												▶		
○作業現場	川端(祥)													
グリーン購入対象塗料の購入													▶	
<b>4.環境配慮工事</b>														
環境対応型の水性塗料の使用	川端(祥)												▶	
凝集剤による排水処理													▶	
<b>社会貢献活動</b>														
ペットボトルキャップの回収・把握	川端(祥)												▶	



## VI. 環境目標の実績

### 運用期間(平成28年3月～平成29年2月)実績

#### 1. 全体の環境実績

項目	単位	平成26年度	平成28年度		平成28年度	評価			
		基準年度	目標		実績	目標比(%)	目標差(数値)	総合	
1-①.二酸化炭素削減	kg-CO2	37,867	37,110	-2%	38,776	104%	1,666.2	×	
	購入電力	kWh	13,481	13,211	-2%	15,437	117%	2,225.6	×
	ガソリン	L	8,953	8,774	-2%	7,932	90%	-841.9	◎
	軽油	L	3,422	3,354	-2%	4,419	132%	1,065.4	×
1-②.産業廃棄物	kg	26,350	25,823	-2%	20,902	81%	-4,921.0	◎	
	廃プラ	kg	10,810	10,594	-2%	14,225	134%	3,631.2	×
	廃油	kg	8,740	8,565	-2%	2,620	31%	-5,945.2	◎
1-③.水道使用量の削減	m <sup>3</sup>	341	334	-2%	324	97%	-10.2	○	
2. 化学物質使用量	kg	299.9	296.9	-1%	260.2	88%	-36.7	◎	
3. *1 グリーン購入(事務用品)	商品	2	4	+2商品	4	100%	0.0	○	
3-②.グリーン購入(建設資材)	t	3.6	3.7	+2%	0.29	8%	-3.4	×	
4. 水性塗料使用量	t	15.2	15.5	+2%	19.8	128%	4.3	◎	

#### 2. 売上あたりの環境実績

項目	単位	平成26年度	平成28年度		平成28年度	評価			
		基準年度	目標		実績	目標比(%)	目標差(数値)	総合	
100万円以上(注文書)の工事	万円	273	278.5	+2%	304	109%	25.54	◎	
1-①.二酸化炭素削減	kg-CO2	138.7	135.9	-2%	127.6	94%	-8.38	◎	
	購入電力	kWh	49.4	48.4	-2%	50.8	105%	2.39	×
	ガソリン	L	32.8	32.1	-2%	26.1	81%	-6.05	◎
	軽油	L	12.5	12.3	-2%	14.5	118%	2.25	×
1-②.産業廃棄物	kg	96.5	94.6	-2%	68.8	73%	-25.83	◎	
	廃プラ	kg	39.6	38.8	-2%	46.8	121%	7.99	×
	廃油	kg	32	31.4	-2%	8.6	27%	-22.76	◎
1-③.水道使用量の削減	m <sup>3</sup>	1.3	1.27	-2%	1.1	84%	-0.20	◎	
2. 化学物質使用量	kg	1.1	1.08	-2%	0.9	79%	-0.22	◎	
3. 水性塗料使用量	kg	55.7	56.8	+2%	65.1	115%	8.33	◎	

\*1 グリーン購入は、詰め替え用商品やエコ商品を含むものとする。  
 (「2. 売上あたり」の把握は困難なため除外する。)

※購入電力二酸化炭素排出係数

平成27年度 中部電力(平成25年度)の「0.513kg-CO3/kWh」  
 平成28年度 中部電力(平成26年度)の「0.497kg-CO3/kWh」

3. 廃プラと廃油の集計に関して

項目	単位	平成26年度	平成28年度		平成28年度	評価		
		基準年度	目標		実績	目標比(%)	目標差(数値)	総合
1-②.産業廃棄物	kg	26,350	25,823	-2%	20,902	79%	-4,921.0	◎
廃プラ	kg	10,810	10,594	-2%	6,945	64%	-3,648.8	◎
廃油	kg	2,160	2,117	-2%	1,440	67%	-676.8	◎
塗料(塗料カス)	kg	6,560	6,429	-2%	8,460	129%	2,031.2	×

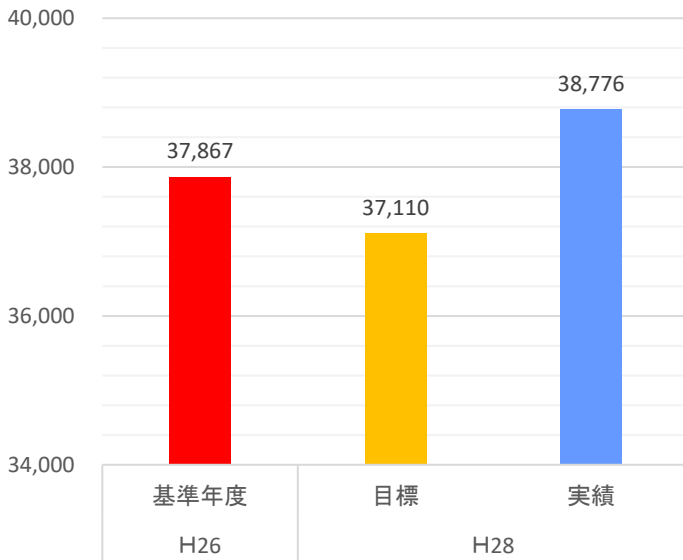
廃プラと廃油は本年度より、委託業者内での分類方法が変更となった。  
 平成27年度まで「廃油」だった廃棄物の多くが、本年以降「廃プラ」に分類される。  
 比較しやすいよう、分類が変更となった物を「廃プラ」とは別に「塗料(塗料カス)」として集計した。  
 次年度より、「廃プラ」に含め集計・実績比較することとする。

※評価基準 ◎:よく出来ている ○:出来ている △:一部出来ていない ×:出来ていない

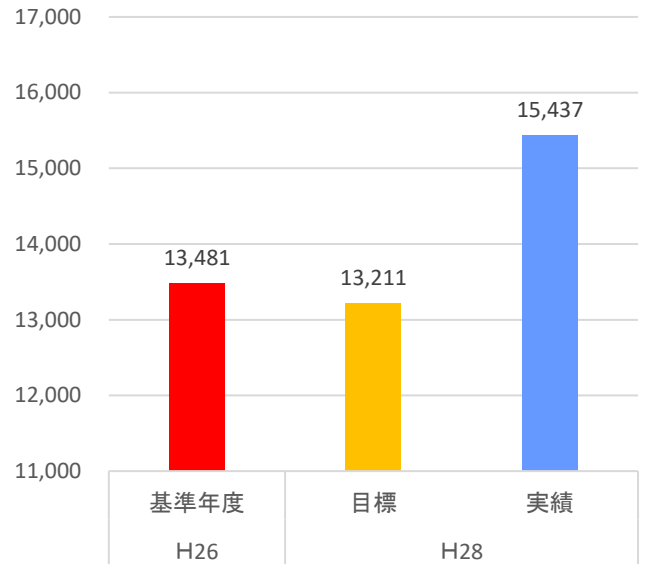
原因分析・是正処理

1-①.二酸化炭素	必要箇所のみ照明やアイドリングストップの呼びかけが反映されたと思う。
購入電力	通常無人の吉田倉庫を工事の拠点として利用した為、増加した。
ガソリン	アイドリングストップ等で減少出来た。
軽油	遠方の作業場所の増加等で使用量も増えた。
1-②.廃棄物	昨年要らない塗料の整理を実施した為、今期は廃棄を減らすことが出来た。
廃プラ	基準年度と比べると増加しているが、前年度と比べると減少出来た。継続したい。
廃油	前年までは増加であったが、初めて減少に転じた。
1-③.水道使用量	毎年減少出来ているが、今年はトイレを洋式にしたこともあって大きく減少出来た。
2. 化学物質使用量	割合としては前年と変わらなかった。
3. グリーン購入(事務)	探してみると、事務用品のエコ商品は多く、これからも増やしていけると思った。
3-②. グリーン購入(建設)	多く使用していた材料が廃番となってしまったため減少してしまった。
4. 水性塗料使用量	全体量は減っているが、割合を増やすことが出来た。

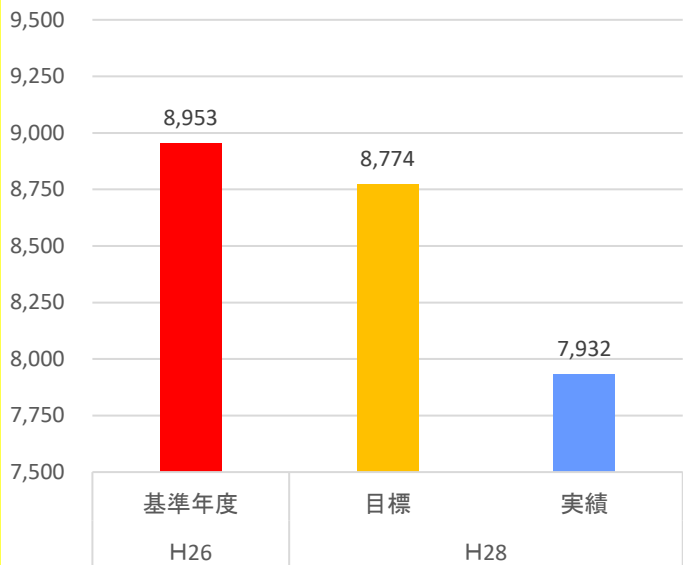
### 二酸化炭素 (kg-Co2)



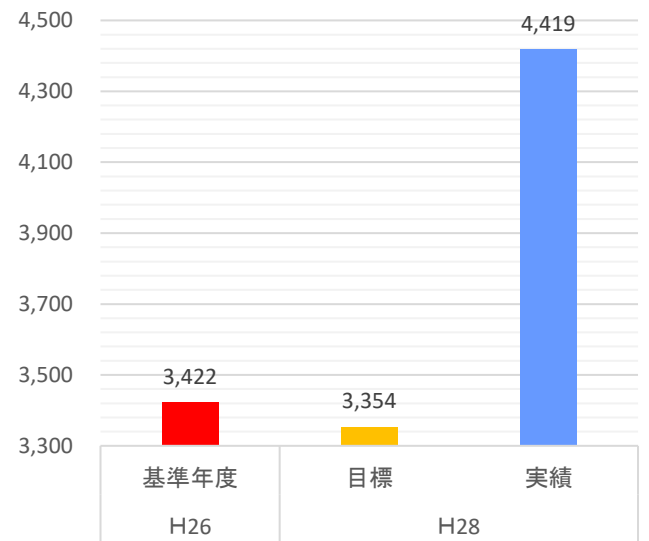
### 購入電力(kWh)



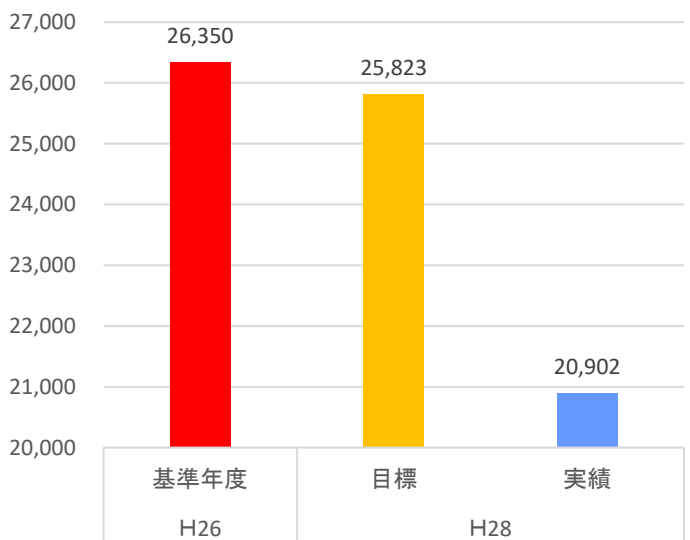
### ガソリン(L)



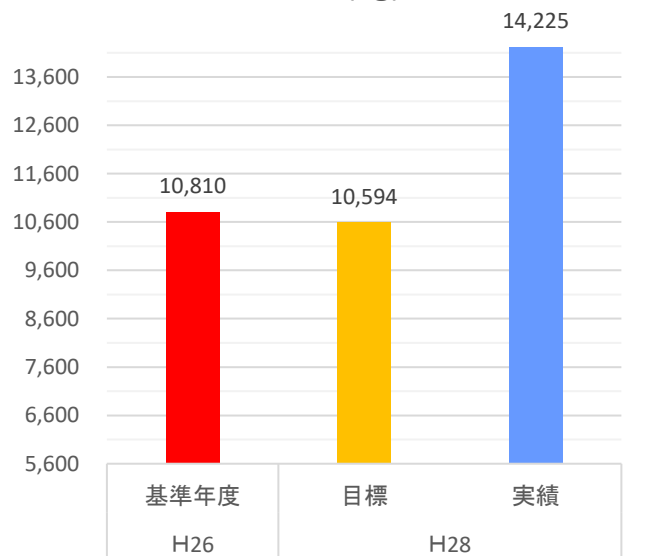
### 軽油(L)



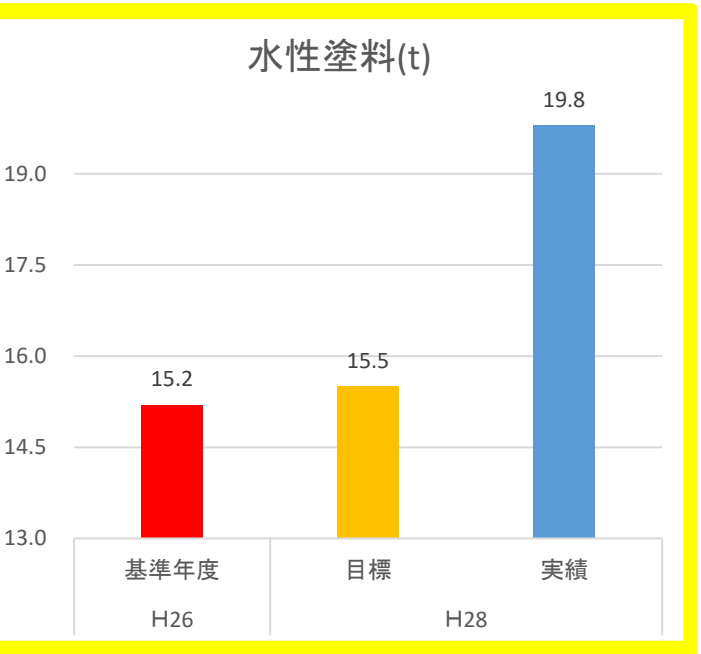
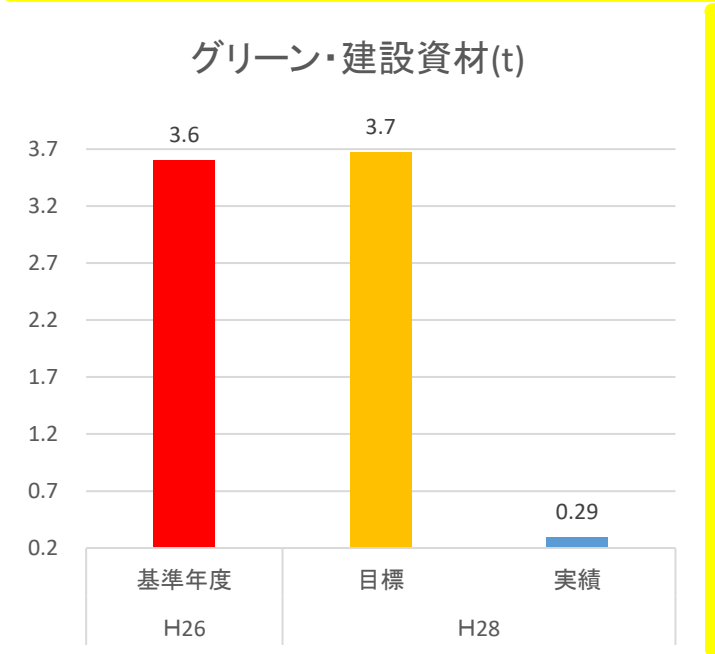
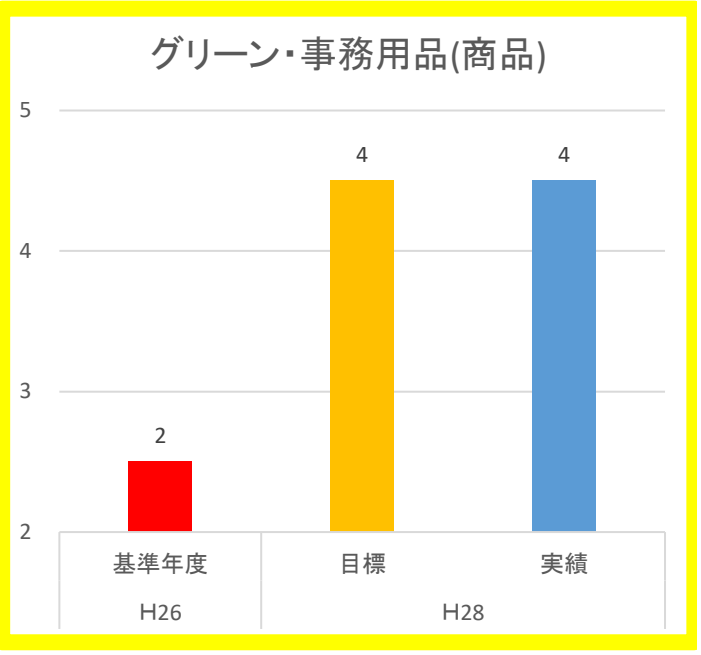
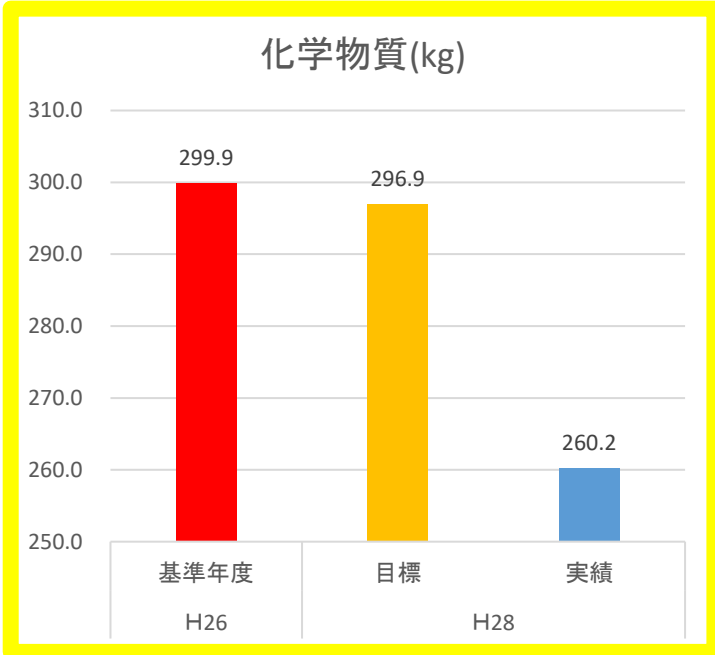
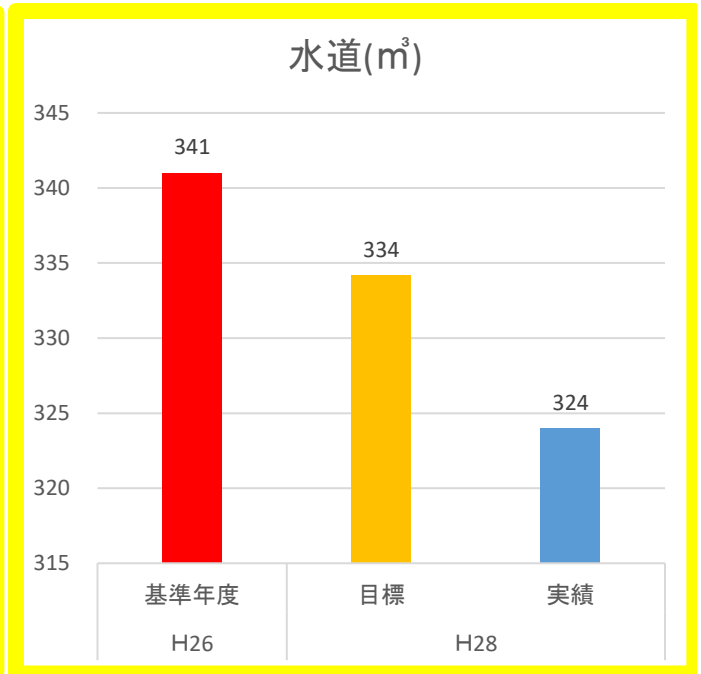
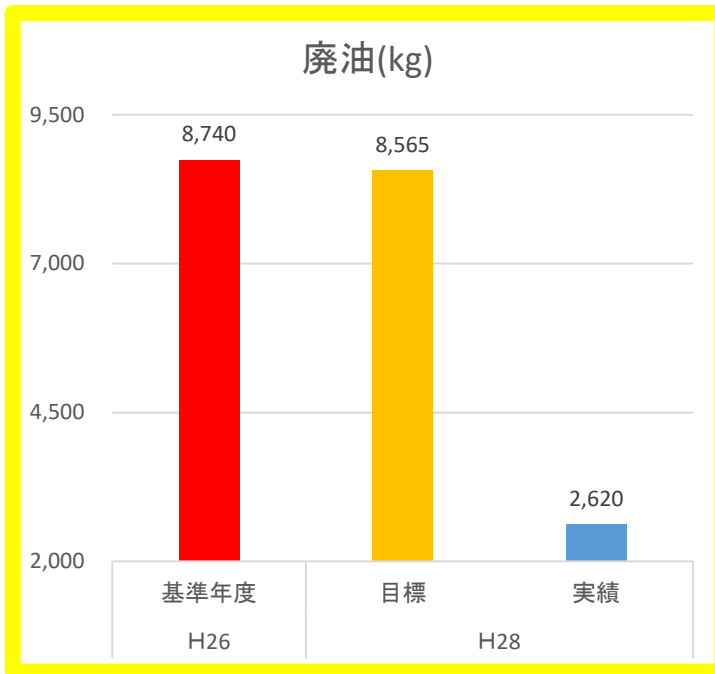
### 産廃物(kg)



### 廃プラ(kg)

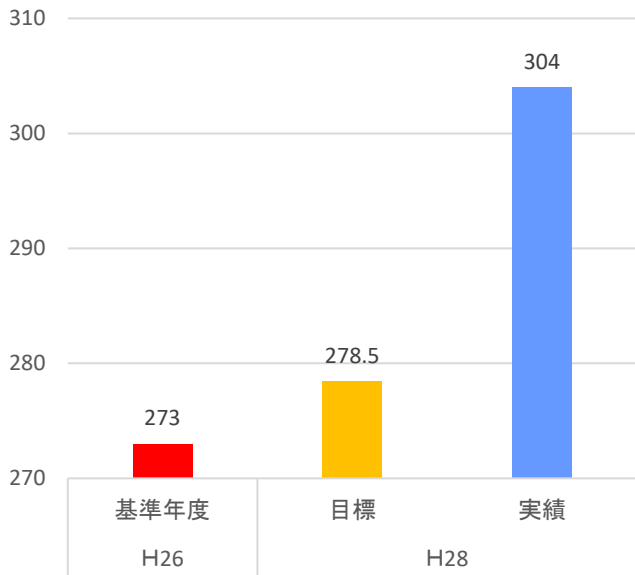


1.全体の環境実績における各項目の目標値と実績値のグラフ

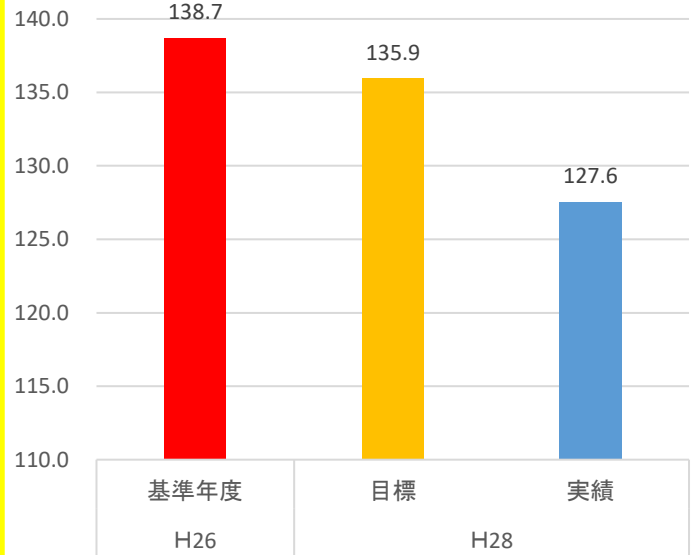


1.全体の環境実績における各項目の目標値と実績値のグラフ

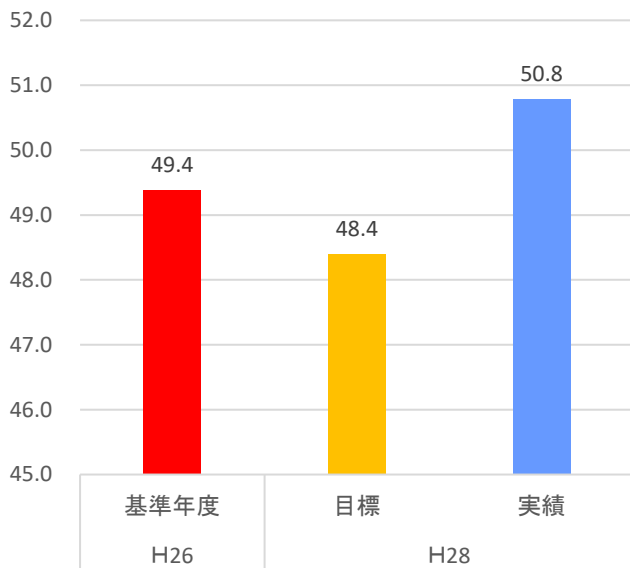
### 工事金額(万円)



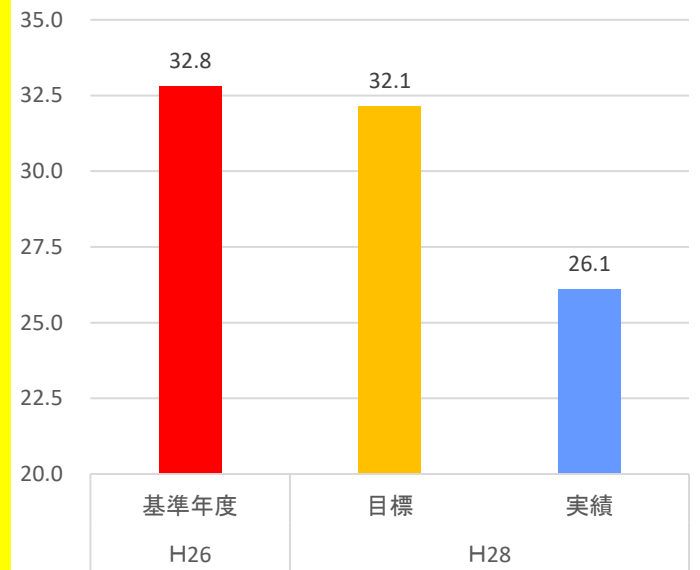
### 二酸化炭素 (kg-Co2)



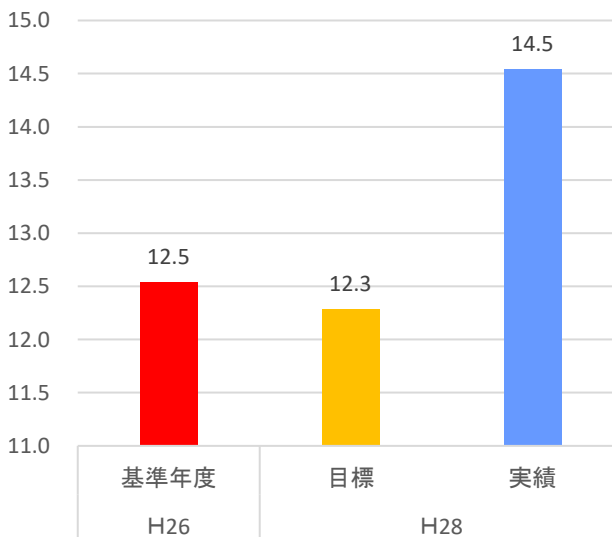
### 購入電力(kWh)



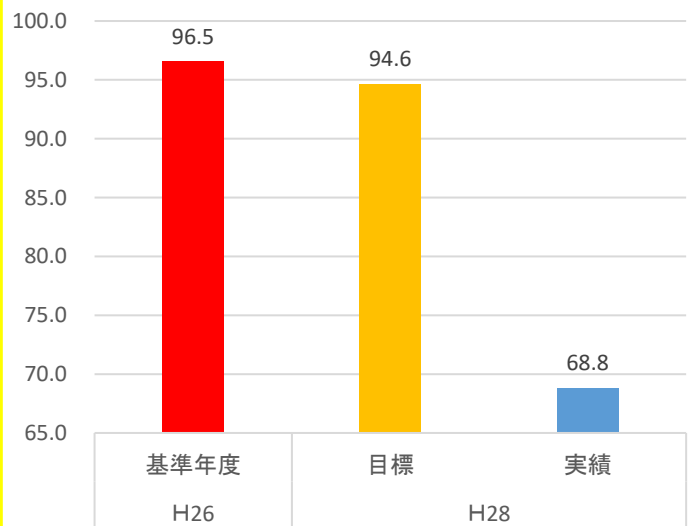
### ガソリン(L)



### 軽油(L)

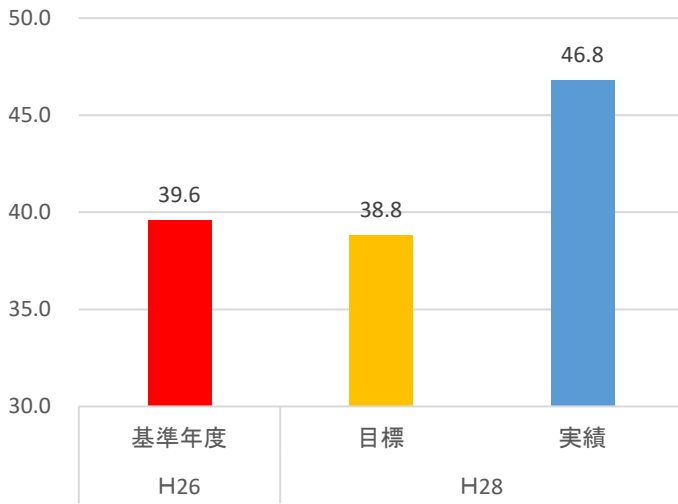


### 産廃物(kg)

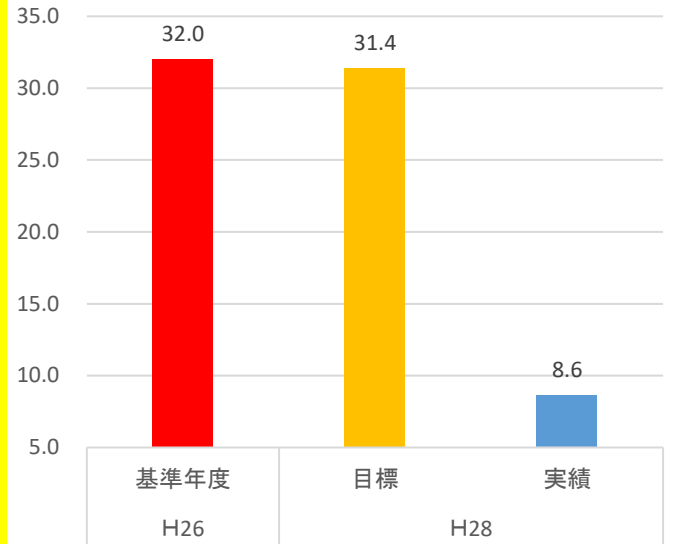


## 2. 売上あたりの環境実績における各項目の目標値と実績値のグラフ

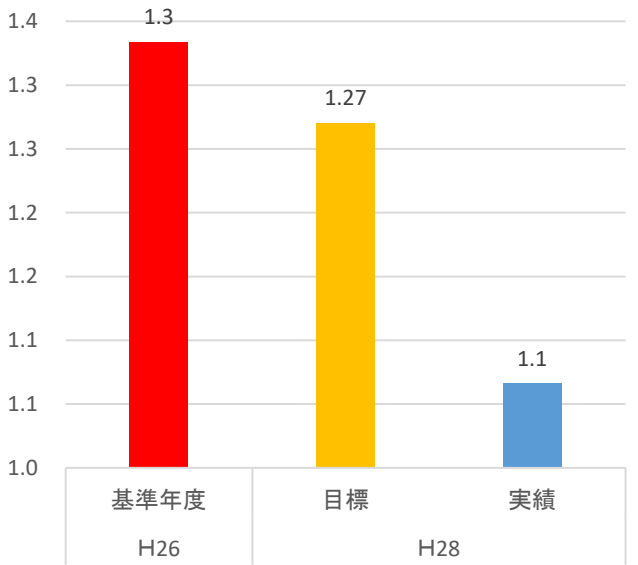
廃プラ(kg)



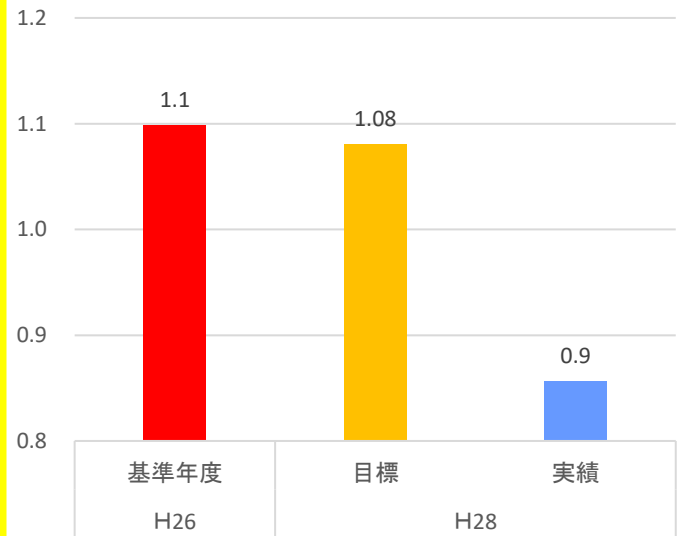
廃油(kg)



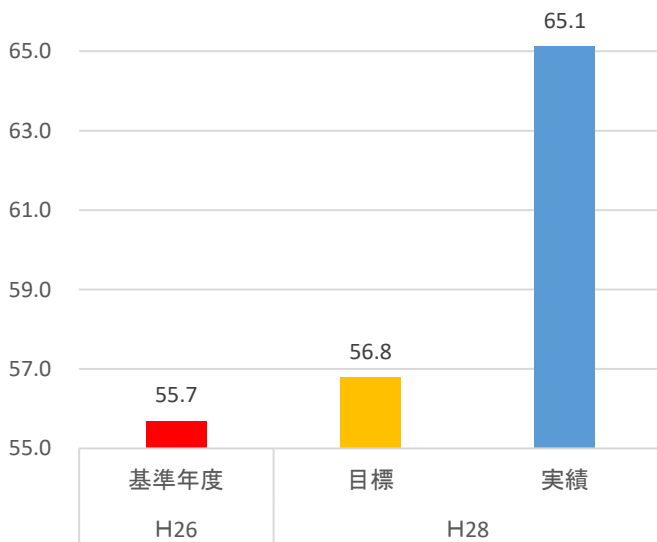
水道(m<sup>3</sup>)



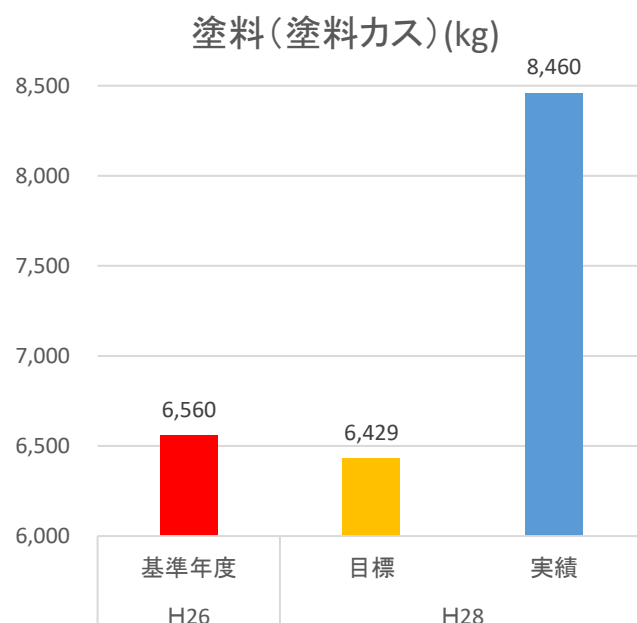
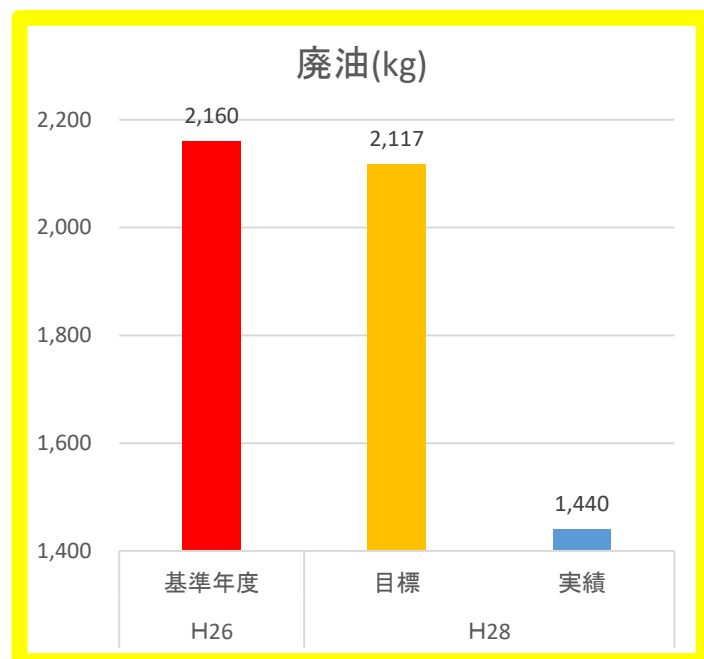
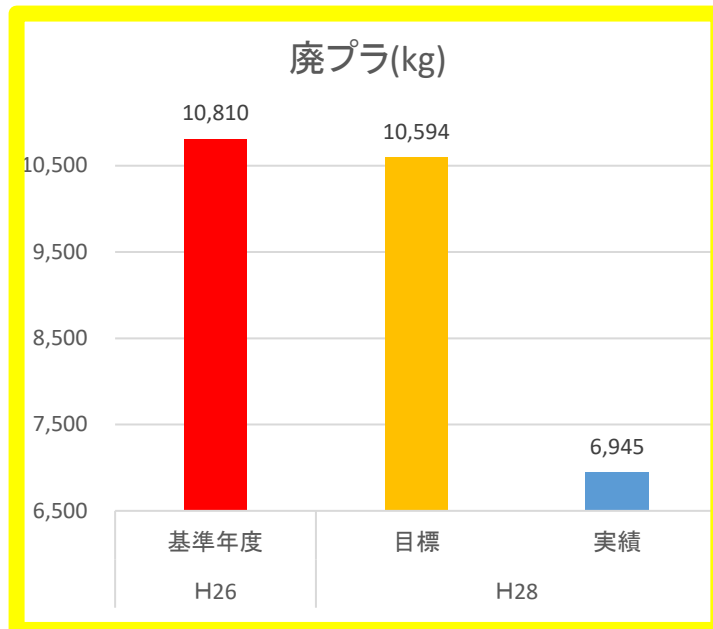
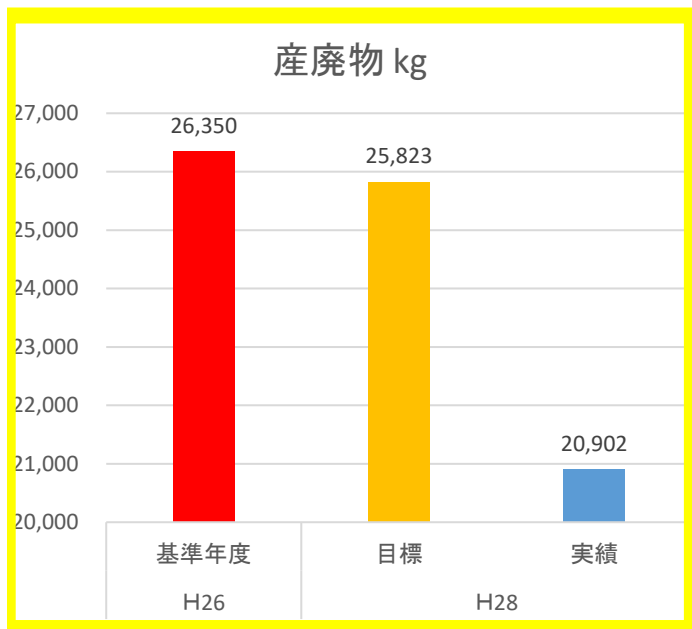
化学物質(kg)



水性塗料(kg)



2. 売上あたりの環境実績における各項目の目標値と実績値のグラフ



### 3.廃プラと廃油の集計の目標値と実績値のグラフ

## Ⅶ. 環境活動計画の取組結果と評価、次年度の取組内容

活動項目		評価	次年度の取組	
<b>1.環境負荷の削減</b>				
<b>①二酸化炭素の削減</b>				
<b>購入電力・燃料</b>				
○照明	木下	◎	多くの社員が習慣化しており、このまま継続したい。	使っていない電気コンセントのチェック実施。
消し忘れチェック		◎		
○空調		◎		
使用していない部屋の空調停止		○	設定温度の表示を行い、エコ活動の見える化を実施した。	エアコン設定温度は継続掲示の為、次年度より削除。
温度設定夏26℃以上 冬22℃以下		○		
自然光の取り入れ		○		
自然風の取り入れ		◎		
設定温度の表示	◎			
○営業車・トラック	川端(祥)	○	エコドライブ表示の実施	エコドライブ表示は継続の為、次年度項目より削除。
エコドライブ・アイドリング停止		○		
点検・整備の実施		◎		
エコドライブ表示		○		
<b>②廃棄物の削減</b>				
○事務所	木下	○	分別表示により、ペットボトルのラベル・キャップの分別が強化出来た。	古紙の減少 (両面使用の徹底)
コピー用紙の両面使用		◎		
マニフェスト伝票の整理		◎		
カタログ、パンフレット類の管理		○		
ペットボトル・缶廃棄量の把握		◎		
正しいゴミの出し方・分別の掲示		○		
○建築現場	川端(祥)	○	マニフェスト作成～保管・報告までの流れがスムーズにできた。	次年度継続実施
ゴミ重量の把握		○		
廃棄物の分別とリサイクル		○		
<b>③節水</b>				
漏水確認	木下	○	量水器により漏水確認の実施	次年度継続実施
手洗い節水		○		
<b>2.化学物質の使用</b>				
化学物質を含む塗料の適正な管理	川端(祥)	◎	適正管理の実施	管理・整頓の継続
<b>3.グリーン購入</b>				
○事務所	川端(貴)	○	再利用商品の購入が出来た。	商品数を増やす。
環境ラベル対応品の購入		○		
何度も使用可能な事務用品の購入		○		
○作業現場	川端(祥)	△	グリーン購入が伸びなかった。	グリーン購入対応商品を調べなおす。
グリーン購入対象塗料の購入		△		
<b>4.環境配慮工事</b>				
環境対応型の水性塗料の使用	川端(祥)	○	水性塗料の割合を増やすことが出来た。	次年度継続実施
凝集剤による排水処理		◎		
<b>社会貢献活動</b>				
ペットボトルキャップの回収・把握	川端(祥)	○	ゴミ分別表示により強化できた。	継続実施

\*赤字は今期新規取組内容。



## Ⅷ. 当社の取組



消火器の設置・管理



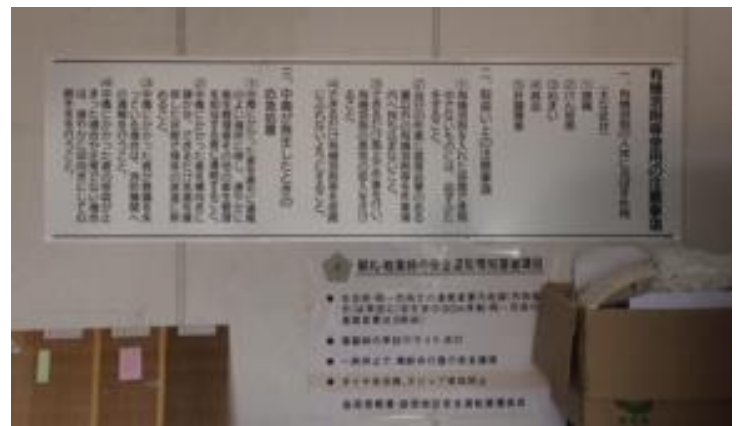
水性塗料捨て場



水質汚濁防止



漏水確認



有機溶剤取扱注意事項の掲示



空調の設定温度管理



廃棄物保管場所の表示

## IX.環境関連法規の遵守状況の確認及び評価の結果

作成日：平成26年11月25日

改訂日3：平成29年2月28日

## 環境関連法規の遵守状況一覧表及び評価

法規・条例・規制	要求事項・内容	条項番号	当社の対応	評価
廃棄物の処理及び清掃に関する法律	産業廃棄物保管場所の掲示	12条2項	産廃物の種類毎5カ所設置	○
	マニフェストの交付・管理・保管	12条3項	A、B2、D票、E票の回収及び5年間の保管	
	マニフェストの期間内返却		90日以内または180日以内	
	マニフェスト交付等状況報告書の提出	年1回(6月末まで)		
	廃棄物処理業者との委託契約	12条5項	契約(書)の締結	
容器包装リサイクル法	廃棄物発生抑制	4条	廃棄物等の内、有効な物の循環的な利用促進(再資源の使用)	○
	資源再生及び再利用の促進			
家電リサイクル法	特定家電機器の適正な廃棄処理	6条	適正な引渡し・処理	○
	資源の有効活用		長期に渡る使用	
小型家電リサイクル法	使用済み小型家電の引き渡し	7条	自治体指定の回収による適正な処理	○
	適正な再資源化			
グリーン購入法	グリーンマーク商品の購入	5条	エコ商品の購入・使用	○
			詰め替え商品の使用	
消防法	屋内貯蔵所の掲示	10条3項	必要事項の記載	○
	適正な貯蔵・取扱	24条	適正保管量の遵守	
下水道法	敷地内排水設備の清掃・維持(公共用水域の水質保全)	10条2項	廃油等有害物質の排出禁止	○
			凝固剤の使用	
PRTR法	化学物質の使用・取扱に係る管理	4条	化学物質を含んだ塗料の適正管理	○
			SDSの管理	
環境基本法	廃棄物の適正処理	8条2項	再生資源の利用	○
	環境負荷の低減	8条4項	環境活動への取組	
静岡県産業廃棄物の適正な処理に関する条例	廃棄物の適正な処理	4条	処理委託業者との契約書締結	○
	廃棄物処理委託先の確認	10条2項	年1回の現地確認	
静岡県生活環境の保全等に関する条例	化学物質の管理	108条	SDSの管理	○
	廃棄物発生抑制・再生利用	111条	適正な分別・処理	
労働安全衛生法	安全と健康の確保	3条	送出教育・健康診断の実施	○
	健康診断の実施・記録保管	66条2項	有機溶剤検診の実施(半年に1回)	
島田市環境基本条例	汚水・廃棄物等の公害防止	第6条	凝固剤の使用	○
			マニフェストによる廃棄物処理	
フロン排出抑制法	簡易点検の実施	2条	3カ月に1回実施	○
	点検・修理の記録・保管	4条	簡易点検記録の保管	

\*評価基準 ○:出来ている ×:出来ていない

当事業所に適用される環境関連法規の遵守状況を確認した結果、遵守されていることを確認致しました。法規への違反は有りません。なお関係当局よりの違反等の指摘は、過去3年間ありません

遵守確認日：平成29年3月1日

遵守確認者：木下 真悠子

## X 代表者による全体評価と見直し結果

今期もエコアクション活動を継続することが出来、今回、初めての更新年を迎えることとなりました。準備期間も含めると3年を過ぎ、従業員一人一人が活動や目標を理解していることが、ゴミの捨て方・分別等の行動にも表れてきていると実感しております。

さて、結果に関してですが、基準年・昨年と比較しても良い結果を得ることが出来ました。ガソリンや水道といった数値が減ったことは、一人一人の心掛けの成果を実感しました。

そういった中でも毎年苦戦しているのが廃棄物削減量です。

どんな業務の中でも資材は必ず使用します。使わなくては仕事になりません。

しかし、そこで改めて見直しをし、使用量・使用方法は適正か、

仕様に合った材料・養生材・資材か、を一人一人に見直してほしいと思います。

今一度考える、心掛けることが無駄を減らし、エコ活動に繋がると思います。

今期より、神奈川営業所も対象組織とし、弊社組織全てが対象となりました。

より一層、会社全体でエコ活動に邁進すると共に、社内の声を取り入れ、

より充実した活動を目指して努力してまいります。

平成29年5月25日

株式会社 共栄社

代表取締役会長 川端 祥治郎